

新庁舎の基本設計について

Vol.1



▲外観イメージ(北東側より)

▶外観イメージ(南東側より)



■新庁舎建物概要

- 鉄筋コンクリート造
- 免震構造(柱頭免震)一部耐震
- ・建築面積 5,125㎡
- ・延床面積 17,328㎡
- ・階数 地上6階建



採用します。

来庁者用駐車場は、Aゾーンに110台、Bゾーンに26台の合計136台を計画しています。

なお、Bゾーンの店舗・駐車場棟については、1階が商業施設となり、2階から4階及び屋上階が駐車場となります。

基本設計の説明書は、ホームページに掲載しているほか、新庁舎整備室及び各行政局総務課(19ページ参照)で閲覧できます。

◎新庁舎整備室(本庁舎2階)
☎0739(34)3336
□ <http://www.city.tanabe.lg.jp/choshaseibi/sekkei.html>

新庁舎の整備については、東山一丁目を建設地として、取組を進めているところです。このたび、建物の構造や配置、各階の基本的なレイアウト、内外のデザイン、備えるべき機能や設備などをまとめた基本設計が完成しました。

この基本設計の概要について、今月号と2月号の2回に分けて紹介します。

基本設計は、防災対策機能や市民交流機能、ユニバーサルデザインについて、専門的な知識や経験を有する方々や、ワークショップ等で行った市民の皆さんのご意見を踏まえ、進めてきました。

新庁舎は、過度な設備と過剰な装飾を見込まない、機能的かつシンプルな庁舎としながらも、紀州材を活用した、木のぬくもりが感じられる庁舎とします。

また、現本庁舎と市民総合センターの行政機能のほか、水道部や保健センター機能も統合して配置し、延床面積は1万7328㎡となります。

構造は、鉄筋コンクリート造、地上6階建で、防災拠点となることから、免震構造を